学校だより

令和8年11月号

やってみよう自分から　もっと生かそう学んだことを　ともに生きよう感謝の心で

横浜市立谷本小学校

一生懸命の中にいるのがうれしい

校長　阿部一平

運動会当日は、多くの皆様にご来校いただき、子どもたちに温かい声援を送っていただきました。心より感謝申し上げます。10 月に入ってから当日まで、登校中や校内では運動会の話題でもちきりでした。休み時間になると、校庭の隅でかけっこの練習をしたり、友達同士でダンスの振り付けを教え合ったりする姿も見られました。この時期ならではの、子どもたちの生き生きとした光景です。

大人になってから小学校時代の思い出を尋ねると、運動会は必ず上位に挙がります。それだけ子どもたちの心に深く残る行事なのだと思います。

運動会の練習中、私は子どもたちに感想を聞いてまわっていました。

「もっと上手になりたい。」「みんなでそろうとうれしい。」「本番が楽しみ。」
そんな声がたくさん聞かれる中で、ある子がこんな言葉を話してくれました。

「一生懸命の中にいるのがうれしい」

私はその言葉を聞いて、胸が熱くなりました。今年度の運動会のテーマは「全力　～協力カラフルスマイル運動会～」でした。本気で取り組み、一生懸命努力したからこそ味わえる達成感があります。しかし、この言葉が素敵なのは、自分一人が頑張れたことだけではなく、周りにも一生懸命な仲間がいて、その中に自分もいることの喜びを伝えているからです。

友達の頑張る姿に励まされ、自分も頑張ろうと思う。仲間とともに同じ目標に向かって力を尽くす。そんな経験は、一人では味わうことができません。一生懸命な仲間たちに囲まれ、その中に自分もいることをうれしいと感じたこの経験は、きっとこの子の心に長く灯り続けることと思います。

運動会で見せた子どもたちの一生懸命さは、これからの学習や係活動、委員会活動、たてわり活動など、日々の学校生活の中でも発揮されていくことでしょう。運動会はゴールではなく、子どもたちの成長につながる大切な通過点です。

私たち教職員も、子どもたち一人ひとりが「一生懸命の中にいるのがうれしい」と感じられる学校でありたいと願っています。友達の頑張りを認め、自分も挑戦しようと思える。そんな温かなつながりの中で、子どもたちが安心して成長していける学校づくりを、これからも進めてまいります。